

東吾妻町

社協だより

第21号

令和4年1月20日発行

編集発行／社会福祉法人 東吾妻町社会福祉協議会

〒377-0802 東吾妻町大字川戸233番地1(本所)

TEL0279-68-2772 FAX0279-68-0051

〒377-0303 東吾妻町大字新巻320番地4(東支所)

TEL0279-59-3266 FAX0279-59-3207

ホームページ <http://higashiaga-shakyo.jp>

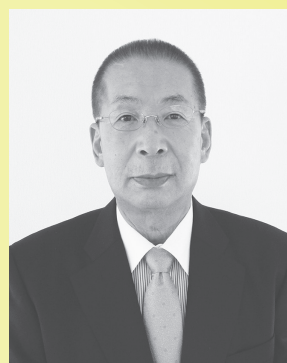
この広報誌は、赤い羽根募金の助成を受けて発行しています。



注目の一投！！

11月16日、本町の町民体育館を会場に「郡老人クラブ連合会輪投げ大会」が開催されました。規模を縮小した大会となりましたが、久しぶりの交流を楽しみました。

新春



東吾妻町社会福祉協議会
会長 高橋 眞

謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、新年を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

常日頃から社会福祉協議会の運営全般に亘りまして、多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

一昨年から世界中に感染拡大した新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種により終息に向かうように思われましたが、変異を繰り返すことにより、世界中でブレイクスルー感染や新たな変異株が広がっており、先が見通せない状況であります。

本会でも国の感染予防指針に則った措置を執っており、各種会議や総会も書面開催によるものが多く、事業によっては中止せざるを得ない状況となり、皆様にも大変ご迷惑をおかけしました。

幸いにして、介護保険事業の訪問介護や通所介護では、利用者様などの協力もあり、一年を通して運営をできましたことを感謝申し上げます。また、3月末にはテイサービスセンター水仙へ「24時間テレビチャリティー委員会」様より、福祉車両寄贈申し込みをしていただきました。スロープ付介護車両が贈呈されることとなり、利用者の皆様にもより快適な送迎ができるものと思っております。

さて、近年社会情勢がめまぐるしく変化し、地域の課題はより複雑化・多様化しております。少子高齢化の急速な進展や核家族化に伴う家庭・家族の介護力の低下、コロナ禍による住民同士のつながりの希薄化などを要因に社会的孤立や生活困窮等、深刻な生活課題が顕在化しております。このような課題に向けて地域に暮らす人たちが共に支え合える関係づくりが大切です。

本会としても「地域社会が支え合え、その人らしく安心して暮らせるまちづくり」を目指し、役員一同精進する所存でございます。

本年も明るい地域社会の実現へ向け、変わらぬご支援とご協力を切にお願いますとともに、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

群馬県社会福祉大会 社会福祉の発展に寄与

11月17日、群馬県庁で令和3年度群馬県社会福祉大会が開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、規模を縮小し各部門の代表受領者のみ出席のもと、開催されました。

この大会は、多年にわたり社会福祉の発展に功績等のあった方々に感謝と敬意を表することを目的に開催されています。本町からは左記のとおり8名の方が表彰されました。

●群馬県知事表彰

【社会福祉事業従事者表彰】

佐藤成幸 様

中井栄一 様

●県社協会長表彰

【民生委員・児童委員功労者表彰】

大塚くに子 様

小泉猪代治 様

【社会福祉施設功労者表彰】

加嶋建之 様

清水増美 様

曾我吉治 様

【社会福祉協議会職員功労者表彰】

野村房枝 様

群馬県遺族の会

創立75周年記念大会

令和3年9月16日、戦没者遺族による群馬県遺族の会創立75周年記念大会において、遺族会活動に尽力された会員に、感謝の意を表し表彰状等が贈呈され、本町から6名が受賞されました。

この大会は5年ごとに受賞者や県内遺族の会会員が一堂に会し、恒久平和を願い開催されます。しかし、今大会は緊急事態宣言を受け、中止され表彰は群馬県遺族の会から各受賞者に送り届けられました。

●知事表彰

塩谷雷三郎 様 (東地区遺族の会)

●会長表彰

青木光子 様 (太田地区遺族の会)

関崎勝治 様 (原町地区遺族の会)

島村英男 様 (同上)

太田守久 様 (同上)

●物故者に対する感謝状

佐藤洋一 様 (東地区遺族の会)

協議体レポート

地域資源マップの配布



町内の生活に役立つ情報をマップに「見える化」した「地域資源マップ」を各地区の協議体メンバーや民生委員・児童委員の方に協力をお願いし、配布しています。70歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に配布しておりますが、対象者以外にもご利用になりたい方は各公民館で受け取ることが出来ます。また、町社協のホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

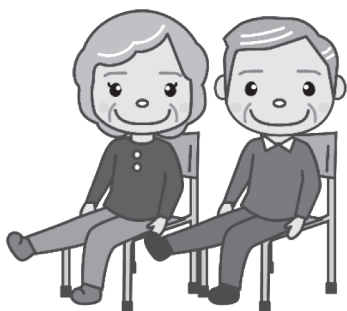


地域資源マップQRコード

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、これまで約2年間感染拡大防止のため、地域活動の多くが縮小や中止を余儀なくされてきました。人と会う機会が減少していますが、改めて地域のつながりや地域の支え合いの大切さ、これまで積み重ねてきた活動への想いなどを再確認する機会になったと思います。外出がしにくい今だからこそ、家族や友人とのちょっとした「あいさつ」や「会話」を大切にしたいものです。

「コロナ禍」での過ごし方

また、3密（「密閉」「密集」「密接」）を避けていると、家に閉じこもりがちになり、運動不足や心身の調子が悪くなる危険があります。家にいることが増える時期こそ、自分自身にできることに取り組み、気力・体力を維持していきましよう。



募集 生活支援サポーター

地域の高齢者や障害者の方の日常生活においてちょっとした困りごとを手助けしていただける「生活支援サポーター」を募集しています。



この生活支援サポーターは、有償のボランティアとして活動していただき、活動時間や内容に応じて町商品券を報酬として受け取ることが出来ます。

●主な活動内容

- ・ 病院の付き添い
- ・ お弁当のお届け（配食支援）
- ・ 買い物代行
- ・ 家事援助 など

これらの内容以外にも皆様の興味があることや得意なことが地域で困っている人の手助けに繋がります。「強み」を活かした地域の助け合い活動に参加してみませんか。

☎ 68-0039 担当：湯本

サロンの紹介



参加者と七夕飾り作り

新井ふれあいサロン

〈代表 中島啓子〉

「新井ふれあいサロン」は、20年以上活動をしているサロンです。コロナ感染症の流行前までは、毎月夜に2回と年に昼間3回程度のサロンを実施してきました。

内容は、体操、保健センターの支援を頂き料理講習と食事会、ビンゴゲーム、ミニバザー会、七夕飾り作り等です。いつも楽しくお喋りをしてサロンを開催しています。緊急事態宣言の解除後、約2年ぶりにサロンを開催したところ、25名の参加があり、短時間で良かったかったです。これからもボランティアの皆さんと一緒にこのサロンを続けていきたいと思えます。

社協会費のご協力に

心から感謝申し上げます

地域福祉活動に活用

今年度も左記のとおり多くの会費を集めることができました。集まった会費は、主に地域福祉活動事業に活用してまいります。今後皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

令和3年度 会費納入状況

地区名	会員数	会費収入額
東 地区	572 世帯	286,000 円
太田 地区	785 世帯	392,500 円
原町 地区	1,262 世帯	631,000 円
岩島 地区	900 世帯	450,000 円
坂上 地区	830 世帯	415,000 円
合計	4,349 世帯	2,174,500 円

ふれあい広場中止

町ボランティア連絡協議会主催の令和3年度「ふれあい広場」は、新型コロナウイルス感染症の開催時期における感染状況の見通しが不透明であることなどから、開催を見送ることが望ましいと判断し、中止することとしました。

なお、提供していただいているバザー品は、次回開催に活用させていただきます。

社会を明るくする運動

7月に実施した「社会を明るくする運動」の一環で各世帯へお願いしました封筒募金は次のとおりです。ご協力大変ありがとうございました。

- 世帯数 4,275 世帯
- 募金額 860,159 円

なお、募金全額は吾妻保護区保護司会へ納付後、2割(172,032円)が町社協へ交付され、社会を明るくする運動の経費に充てさせていただきました。



町長へメッセージの伝達

ご寄付ありがとうございました

受付期間：令和3年7月～12月

敬称は略させていただきます。

●エコキャップ・プルトップ等

東吾妻町婦人会、日赤清掃メンバー、田島病院病棟スタッフ、富沢建具店、関谷ボランティア、箱島分館、五町田分館、大戸友遊会、よみがえれ東吾妻、(株)たくみ、小林勝三、高橋朋也、高橋恭平、清水萌子、小林隆夫、綿貫秋子、樋口貴信・順子、竹淵絃介、土屋たき子、おしゃべりサロン、あづま温泉桔梗館、小林キヌ子・小林まさ

●現金

吾妻ライオンズクラブ、東吾妻町職員組合青年女性部、原町地区母子保護連盟

●使用済み切手

●その他

松の木ふれあいサロン、富沢たつ江、都所キミ



デイサービスセンター水仙通信

素敵な一日が過ごせるよう心掛け、サービスを提供しています。





東吾妻町シルバー人材センター

●高齢者活躍人材確保育成事業

庭木剪定・刈払機講習

10月27日から29日、群馬県長寿社会づくり財団主催の講習会が東吾妻町を会場に開催され、町内外から技術や知識の習得を目指し多くの方が参加しました。当センターでは、お客様に安心してお仕事を任せていただけるように、今後もこのような学びの場の参加を会員に積極的に促して技術向上を図り、安心で安全、丁寧な就業を目指します。



剪定講習会で腕を磨く

●会員募集

シルバー人材センターは、生きがい、健康維持、社会参加等を目的に、長年培った知識や経験を活かし希望や能力に応じて働くことができます。



会員は地域社会に密着した臨時的で短期的な仕事を、責任を持って遂行することにより地域社会に貢献しています。

町内在住 60 歳以上、健康で意欲のある方であれば登録することができます。現在、特に草刈や剪定等の屋外作業ができる方を募集しています。是非ご検討ください。

問い合わせ：☎68-0135 担当 上原



訪問介護事業所の統合

平成 18 年 3 月の東村社会福祉協議会と吾妻町社会福祉協議会の合併に際し、訪問介護（ホームヘルパー）事業を本所及び東支所で行っていましたが、令和 4 年 4 月 1 日から統合することとなりました。

訪問介護事業所の統合後も東支所の訪問介護事業所は出張所（サテライト）として存続し、東支所内に職員を配置いたしますので、ご利用者様には変わらずサービスの提供を行うこととなりますのでご理解いただきますようお願いいたします。

【生活困窮者・ひきこもり】

メール相談を行っています

- 対象者 ひきこもりや日々の生活でお悩みのご本人・ご家族 
- 地域 県内の町村部
- 支援内容 ご本人・ご家族からメールのご相談をお受けします。ご相談の内容によって、必要な支援機関におつなぎします。 
- 問合せ 群馬県社会福祉協議会
- 電話 027-212-0011
- メール g-sodan@g-shakyo.or.jp



くのいちの会
からの
お知らせ

制服・子ども用品のリユース

不用になったもの
寄付をお願いします

東吾妻町中学校の制服やジャージのリユース推進のために、5年前から活動している「くのいちの会」です。この度、「高校の制服も寄付したい」「小学校のジャージはないの？」などのご要望にお応えして、子ども用品全般のリユースを始めることになりました。

- 対象：〔小学校〕 町内小学校のジャージ
〔中学校〕 東吾妻中学校の制服、ジャージ、カバンなど
〔高校〕 県内高校の制服
〔その他〕 子ども服、おもちゃなど

●場所：「ぽこ・あ・ぽこ」（原町 590-3）※24 時間営業のパン屋さんの中にあります。
もったいないの精神と皆さんの善意で成り立つ活動です。お気軽に、お立ち寄りください。



子育てするなら東吾妻町!

問い合わせ：「ぽこ・あ・ぽこ」 ☎0279-26-8040 担当 中曽根

前号から「東吾妻町ボランティア連絡協議会」に加盟する7団体にスポットをあて、各会長にお話を伺います。

第2弾は、

東吾妻町

民生委員児童委員協議会



会長 おおつか 大塚 こ くに子 さん
(新巻)

隣の〇〇さんは、民生委員

“隣の友達は学級委員、隣の父さんは民生委員”。CMでおなじみのこのフレーズ。私たちも、このお父さんと同じ民生委員です。

東吾妻町では、困りごとの相談に乗る52人の民生委員・児童委員が活動しています。

※民生委員は児童委員でもあります

活動心がけていこう

私たちは、研修や視察を重ね、経験を活かしながら皆様の声に耳を傾けます。赤ちゃんのことから高齢者まで、地域の皆様と共に考え、共に歩み、寄り添うことを心がけていきます。そういった心かげは、民生委員活動にとって大切なことです。

民生委員の活動

民生委員の活動の一つである友愛訪問は、ひとり暮らし高齢者世帯の“安心して生活できる環境づくり”のために欠かせません。また、民生委員は、住み慣れた地域で助け合って暮らしていくことをテーマにした生活支援サービステキ整備推進事業（協議体）に積極的に参加しています。

私たちの仲間になりませんか？

民生委員は、今まで気付けなかった自分を知るチャンスです。区長さんに勧められたら、私たちの仲間になりませんか？



職員紹介
木村 ひろこ 寛子 介護支援専門員
(ケアマネジャー)

東支所で、介護支援専門員として勤務している木村寛子と申します。

両親が共働きだったこともあり、小さなころから祖父と一緒に過ごす時間が多く、勉強をみてもらったり、時にはおやつを作ってくれするなど面倒見の良い祖父だったのですね。私はいわゆる「おじいちゃん子」で祖父の事が大好きでした。祖父は出兵した経験があり、小さな頃から戦争の話をよく聞かされていました。看護兵としてパプアニューギニアに行っていました。が、終戦が近づく頃には物資も不足し医療品も現地の物で代用したり、食糧物が無くて栄養失調にもなったそうです。幼心に「戦争は怖いものだ、昔の人は大変な思いをしてきたんだ」と感じていました。そんな祖父の話を知ることが嫌ではありませんでした。

学生時代にも数名のお年寄りの方から戦争に行った実体験をインタビューする機会があり、そんな困難な時代を生き抜いてきた人々に、人間の力強さを実感しました。そういった経験からお年寄りと接することが好きだったこともあり、福祉の道に進むきっかけとなりました。

卒業後は心身障がい者の施設に勤務し、その後、平成12年から旧東村社会福祉協議会に入職し、すこやかセンター福寿草の生活相談員として勤めさせていただきました。そして平成28年から介護支援専門員として勤務させていただいております。

介護支援専門員の仕事は、ご利用者様やご家族様からの相談に応じて解決策の提案やサービス事業所の情報提供等を行い、ご希望や心身状況に合ったケアプランを作成します。また定期的にご利用者様の状況を把握し、サービス事業所への連絡や調整等を行います。ご利用者様の生活の様子を確認し、想いに寄り添って進めることが大切だと考えております。また、ご利用者様を支えるご家族様あつての在宅介護だと思えますので、ご家族様の心と体の健康や休息の時間にも配慮した支援を心がけてゆきたいと思っております。